

令和4年度
湖西市
子ども会
だより

令和5年2月発行
湖西市子ども会連合会
広報部



湖西市子ども会
連合会会長
村上久美子

本年度、会長の役を務めさせて頂きました。コロナ禍により子ども会の活動も自粛や中止が続き、約3年ぶりのイベント再開に、役員一同手探りで活動を進めてまいりました。例年通りには至らない所もありますが、なんとか活動を続けてこられたのも、日頃より皆様の子ども会の活動へのご理解とご協力があつてこそと、心より感謝申し上げます。また、同様に一年間その時の感染状況を考慮し、それに応じた判断をしながら活動を運営してこられた地区、単子役員の皆様、子ども会に関わる多くの皆様にも厚く感謝申し上げます。

子ども会は今後も、様々に変化していく時代にあわせて、子どもたちに少しでも多くの出会いや体験を提供できる場であり続けるよう、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

ひさしぶりの

コーちゃんフェスタ

古見以西 古見子ども会 六年 奥田 蓮

コロナになる前はときどきコーちゃんフェスタに行っていた。前は、フリーマーケットがあつたけど、今回はなかった。前は、ぼくは小学校の低学年だった。フリーマーケットで五十円でプラレールが買えたので今回もプラレールがでいるかもと思つてきていた。

今回は、友達と一緒にいった。コーちゃんフェスタ開始時間の九時に行った。

サブアリーナとメインアリーナにゲームがあつた。全部のゲームをした。

目を閉じて片足立ちするゲームの記録がとても低くかつた。三人そろつて『十秒あてるゲーム』をしたら、友達は八秒でぼくは十一秒だった。ぼくは、『ぼくの勝ちだ』といったけど友達は『一秒しか違わないじゃん』と言つた。十秒のうちの一秒はでかいとぼくは思つた。

一階でおしゃべりしたり、ゲームを全種類制覇してすごした。

最後の子ども会活動

新居 郷南子ども会 六年 道家 隆春

今年がぼくにとつて最後の子ども会活動でした。だけれども、もう何年もお祭りなどの行事と一緒に、子ども会の行事もほとんど中止になってしまいました。一年生を迎える会も中止で納涼祭も中止になりました。夏休みのラジオ体操もちようど湖西市のコロナの感せぬ者数がとても多かつたのでなくなりました。ラジオ体操はとくに楽しみにはしていませんでした。お祭りがなくなつてしまつたのはとても残念です。

しかし、学校の行事も少しずつ元にもどつてきて、クリスマス会はあるみたいなので、楽しみにしています。去年は何もなかつたけれど、今年は、来年中学校に行く友だちとクリスマス会や六年生を送る会ができそうです。また、ぼくには弟や妹がいるので、コロナが終わつて、ぼくたちより色々な活動が楽しめるようになっていけるといいと思います。

盆踊りに参加して

河美 河原子ども会 六年 山田 琥太

「面倒だと思つたけれど、たまには地元の人たちとこんな時間もいいな。」これが盆踊りに参加後、僕が感じた正直な気持ちだ。この夏僕の地元河美地区では盆踊りが開催された。盆踊りに参加前には踊りの練習もしてくれた為、当日はなんとか様になつていたように思う。開始時間直後は参加者も少なく小さな輪だったが、途中から少しずつ人も増え最後にはなんと二重の輪ができみんなで踊ることができた。警沢を言うならば、数年前のように食べ物などがあつて、みんなで大笑いしながらこの盆踊りを楽しめたかった。

この行事を開催するにあたりきつと地区の方たちがたくさん話し合い、悩んだことを想像すると無事に開催できたことに感謝したい。そして近い将来コロナが落ち着き、マスコットで地域の人の笑顔がはじける日がくることを僕は心から願いたい。



廃品回収

新居南 若磯子ども会 四年 正田 瑞貴
 十一月二十日に廃品回収を手伝いました。集める物は、新聞紙・ダンボール・牛にゆうパッド・洋服・空き缶などの物を集めます。

ぼくは、集めた物は何にリサイクルするんだろうなと思いましたが、あと運ぶ物は、意外と重くて大変です。それに、さつきまではひまだったのに急に車が三台くらい資源を運んで来るからびっくりします。資源をのせるコンテナがパンパンになってしまい整頓が大変ですが、みんなで協力して整頓しています。お母さんたちも運ぶの手伝ってくれます。主に、空き缶集めをやってくれます。廃品回収は、大変だけれども楽しいしみんなで協力してがんばっています。今年で廃品回収の手伝いがなくなってしまうのですが、家での資源集めは続けていこうと思います。



神社のそうじ

知波田 太田子ども会 六年 伊藤 凜
 私が住んでいる太田には、若磯神社という小さな神社があります。この神社は秋祭りをやったり、放課後遊びに行ったり、みんなに親しまれています。四年生から六年生までの子が月に一回みんなでそうじをします。境内や階段にたくさん落ち葉がたまるので集めるのが大変だけれど、きれいになるととても気持ちがいいです。

コロナが流行りだしてから、秋祭りが三年連続で中止になりました。お祭りの時はこの神社でもち揚げをしたり、射的などの出店が出たり、大きな山車が出て太鼓や笛でもとにぎやかになります。今年も中止になり残念だけれど、またにぎやかなお祭りができるまで毎月みんなで神社をきれいにしたいと思います。



コーちゃんフェスタに行ったよ

岡崎北部 岡崎子ども会 三年 赤穂 杏偉

十一月二十日に、わたしは、お母さんと、弟といっしょに、コーちゃんフェスタに行きました。一番楽しかったのは、「わなげ」です。六回なげて、三十六点取れました。お友だちよりもたくさん点が取れました。十秒ぴったりで止めるストップウォッチもしました。一回目は、十秒六で、二回目は十秒一で、いいきろくがでて、うれしかったです。

一番むずかしかったのは、たつ球とペタボートです。たつ球は、うち返して、はこに入れるのがむずかしく、一回も入りませんでした。コーちゃんフェスタでいろいろチャレンジして、ふだんできない事が、できて楽しかったです。わたしは、バスケがすぎなので、来年はバスケがあるといいなと思いました。



最後のラジオ体操

南上の原 中北子ども会 六年 金子 結羽
 八月二十六日と二十七日に、集会所でラジオ体操がありました。

ここ数年、子どもの行事が全く無くて、つまらなかったのですが、六年生最後の年に行事があつて、楽しかったです。朝七時に起きなさいけなかつたので、ちゃんと起きられるか不安だったけれど、ちゃんと起きられたので良かったです。

ラジオ体操では、七人八人が来て、お母さんがノートパソコンで流していました。参加賞は、みんなにポッキンアイスを数本ずつくばりました。そして、ラジオ体操のカードにシールをはってあげました。ラジオ体操をしているときに疑問を感じました。なぜ子ども会でわざわざ朝早く起きてラジオ体操をしなければいけないのかなと思いました。でも楽しかったです。



きれいだったあじさい祭り

新所 入神子ども会 五年 佐藤 瑠菜

私は、六月に行ったあじさい祭りであじさいがとてもきれいでした。あじさいの色は、むらさき色、青色、水色などの色がありました。あじさいの上にかたつむりが乗っていて、あじさい祭りという感じがしました。

あじさい道路を歩いて、そろそろ家に帰るころで、あせがでてきたら、受付の人から、氷いちごがもらえました。まだ、六月なのにいちごがすっぱくなって、びっくりしました。いちごが氷にかまれているのがとても好きでした。子どもだけ、氷いちごをもらえるのではなく大人も氷いちごがもらえるので、お母さんと妹と、コロナなので家で一緒に食べました。あじさい祭りは子どもから、お年よりの人まで楽しくこれるので来年は、コロナがおちついて、マスクなしであじさい祭りをやりたいです。



楽しかった思い出

入出 入出子ども会 六年 松本 聖陽
 ぼくは、入出子ども会の行事にたくさん参加しました。その中で夏に参加した打ち上げ花火教室と秋の入出体育祭が、いろいろな経験ができて思い出に残っています。

花火教室では、花火屋さんの準備も手伝うことができましたので尺玉という大きな花火の玉をもたせてもらいました。ふらふらしてしまうくらいのもので、重たくて、びっくりしました。花火教室の中で自分でデザインしてつくったかたもの花火が、夏祭りで本物の花火になって打ち上がったのが見えたので、とてもうれしかったです。

入出体育祭では、パン食い競争がおもしろかったです。ぼくは食パンをねらってがんばってとることができました。

ヨットにのったりするマリンスポーツがコロナで中止になってしまったのは、残念だったけどいろいろな体験ができて楽しかったです。



楽しかったコーちゃんフェスタ

白須賀 二区子ども会 六年 山本 聖奈

私は、十一月二十日にアメニティのコーちゃんフェスタに行きました。

サブアリーナで一番楽しかったのは、「輪投げ」でした。それぞれちがう点数の棒にリングを六個投げました。全部で一五点でした。最高得点の「九」の棒に二個くらいリングが入ったので、うれしかったです。

メインアリーナで一番楽しかったのは、「ペタポード」でした。初めてだったので、力加減が難しかったです。私は五十点を出しました。初めてなので、点数が良い方なのか悪い方なのか分かりませんでした。

最後に、参加賞として、ポテトチップスののりしお味ももらえました。

私は、コーちゃんフェスタに初めて参加したのですが、思った以上に楽しめまし、おかしももらえたので、とてもよかったと思います。



三年ぶりのコーちゃんフェスタ

表鷺津 風の杜子ども会 六年 山本 紗也

「コーちゃんフェスタ」に初めて参加をしました。今年はコロナ禍の影響で、三年ぶりの開催だった。また、市制五十周年記念事業ということで、子ども会の行事を、とても楽しみにしていた。

当日は、ペタポード、片足立ち、怪力綱引き、卓球ヤード、輪投げ、「の」の字探し、ストップウォッチで体内時計、などいろいろなイベントがあった。私は中でも「の」の字探し、印象に残っている。一枚の文章の中から「の」の字を見つけ出し、一分間でいくつの「の」を見つけ出せるか競うものであった。単純な作業だがなかなかドキドキして楽しかった。後になって文章を見返すと「の」をたくさん見逃していて悔しい思いをした。これからは、本をたくさん読んで文字を読むことに慣れたいと思った。

このコロナ禍の状況がいつ終わるかわからないが、来年は中学生になるため、私達ができることを考え、実行していきたいと思う。



「人に会えるとき」

鷺津 栄町一丁目子ども会 五年 三浦 愛心

私がこの夏祭りで学んだことと感謝したこと、楽しかったことを伝えます。

まず、学んだこと。子ども会の役員さんが、みんなに、優しく接していたことです。幼児の子に、伝わりやすい言葉で対応していたのがすごいと感じました。

次に感謝したこと。それは、明湖会の方が朝早くから、ポップコーンをつくってくれたことです。私が会場に着いたときよりも、ずっと早くにいました。しかも、こんがりといいにおいのするおいしいものを食べさせていただきました。

最後に楽しかったこと。それは、スパーボールすくいの運営をしたときです。いろいろな子の「とれた」「あみやぶけたー」などのいろんな反応がぎけたからです。

このように、いろんなことを学びました。楽しいこともつらいこともりこえて、みんなをよるこばせてあげられたのがうれしかったです。みんなが笑顔で帰ってくれたのが良かったです。

